

日本基督教団 八ヶ岳伝道所 主日礼拝 NO.1137 2020年9月13日

牧師 山本 護 奏楽 山本 恵美 第一部礼拝 司式 竹内 雅子 9:30~10:30

※讚美は二番まで歌います

第二部礼拝 司式 清水 由可 11:00~12:00

前 奏	黙想	讚美歌	529	ああうれし、わが身も
讚美歌	58	かみよ、みまえに	献金	
祈 禱			讚 詠	547
聖 書	創世記 3:23~24		黙 禱	
	ローマの信徒への手紙 5:18~21		主の祈り	564
讚美歌	520	しずけき河のきしべを	頌 栄	541
説 教	『背きと従順』		祝 禱	
祈 禱			後 奏	※信仰告白は当面のあいだ省略します

「一人の罪によってすべての人に有罪の判決が下されたように、一人の正しい行為によってすべての人が義とされて命を得ることになった。一人の人の不従順によって多くの人が罪人とされたように、一人の従順によって多くの人が正しい者とされた(ロマ 5:18~19)。「すべて」と「多く」は同義語。

言うまでもなく前者はアダムであり、後者はキリスト。現代では、私のこれまでの出来事の上に今の私があり、善行も悪行も自己責任だと考える。ゆえに、御言葉の「一と全」の結合は受容しにくい。アダムの罪など俺はあずかり知らぬ、キリストの従順が俺とどう関係あるのか、と思いがち。ただ、アダムとの結びつきに踏み込んでみると、キリストとの結びつきがリアルになるのではないか。

「主なる神は、彼をエデンの園から追い出し、彼に自分がそこから取られた土(アダム)を耕させることにされた。こうしてアダムを追放し、命の木に至る道を守るために、エデンの園の東にケルビムと、きらめく剣の炎を置かれた(創世 3:23~24)」。アダムはもう、故郷のエデンへ帰ることはできない。

人間(アダム)が生きるとは土(アダム)を耕すこと。まことに意味深い。自己を耕した結果、知性や感性は自由に拡大し、技術や芸術、文明や戦争が生じた。そして人間は、神に背くことによって神に従うということを経験する。この物語は人間とは何かを根源から言い当てている。だがいくら自己を耕そうとも「お前は顔に汗を流してパンを得る、土に返るときまで。お前がそこから取られた土に。塵にすぎないお前は塵に返る(3:19)」。どんな私たちであろうとも、否応なく土から生まれ、死んで土に返る。

こうした人間の本質を、ロマ書は「アダムの罪によってすべての人が有罪にされた(ロマ 5:18)」、「アダムの不従順によって多くの人が罪人とされた(5:19)」、「アダムの罪によって多くの人が死ぬことになった(5:15)」と表現する。このように「一と全」で語られる人間の本質なら受け入れられるだろう。

キリストの真実はアダム物語の裏表と言える。私たちは「キリストの正しい行為によって、すべての人が義とされ命を得(5:18)」、「キリストの従順(十字架)によって多くの者が正しい者とされる(5:19)」。人間の本質はアダムそのものだが、その裏面に存在するキリストはそれ以上の力によって、義と命が罪と死を凌駕する。私たちが自己のアダム性におののく時、恵みはなおいっそう満ちあふれる(5:20)。

「こうして、罪が死によって支配していたように、恵みも義によって支配しつつ、わたしたちの主イエス・キリストを通して永遠の命に導く(5:21)」。十字架というキリストの柔順によって私たちは解放された。死の力に支配されていても、キリストの恵みによって私たちは「永遠の命」に導かれる。これは未来へ続く出来事、救いの完成は終りの日まで待たねばならぬ。終りの日を待っていたら寿命つきちやうよ、と思うだろうか。永遠の命の一端に与りながら、死んだまま待っていようじゃないか。

アダムとしての命が燃え尽きるまで、あなたはキリストの柔順、つまり十字架によって徹底して赦されている。いくら神に背こうとも、それほどに愛され掴まれている自分なのだ、と覚えてほしい。

死を導いたアダムは消え 命をもたらすキリストだけが満ちている そんな聖らかなが人間なのか 食わず背かずの死のうちにいるならそれもありえよう だが今は背く私と共にキリストがおられる

9/19(土)13:30~15:00 八ヶ岳メディカル・カフェ、本日礼拝後にその打ち合わせ。9/27は長崎哲夫牧師が説教。牧師の動き:本日 17:00 山梨ソテカ教会、9/15ギリシア語の学び、9/17 刑務所で教誨。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。